

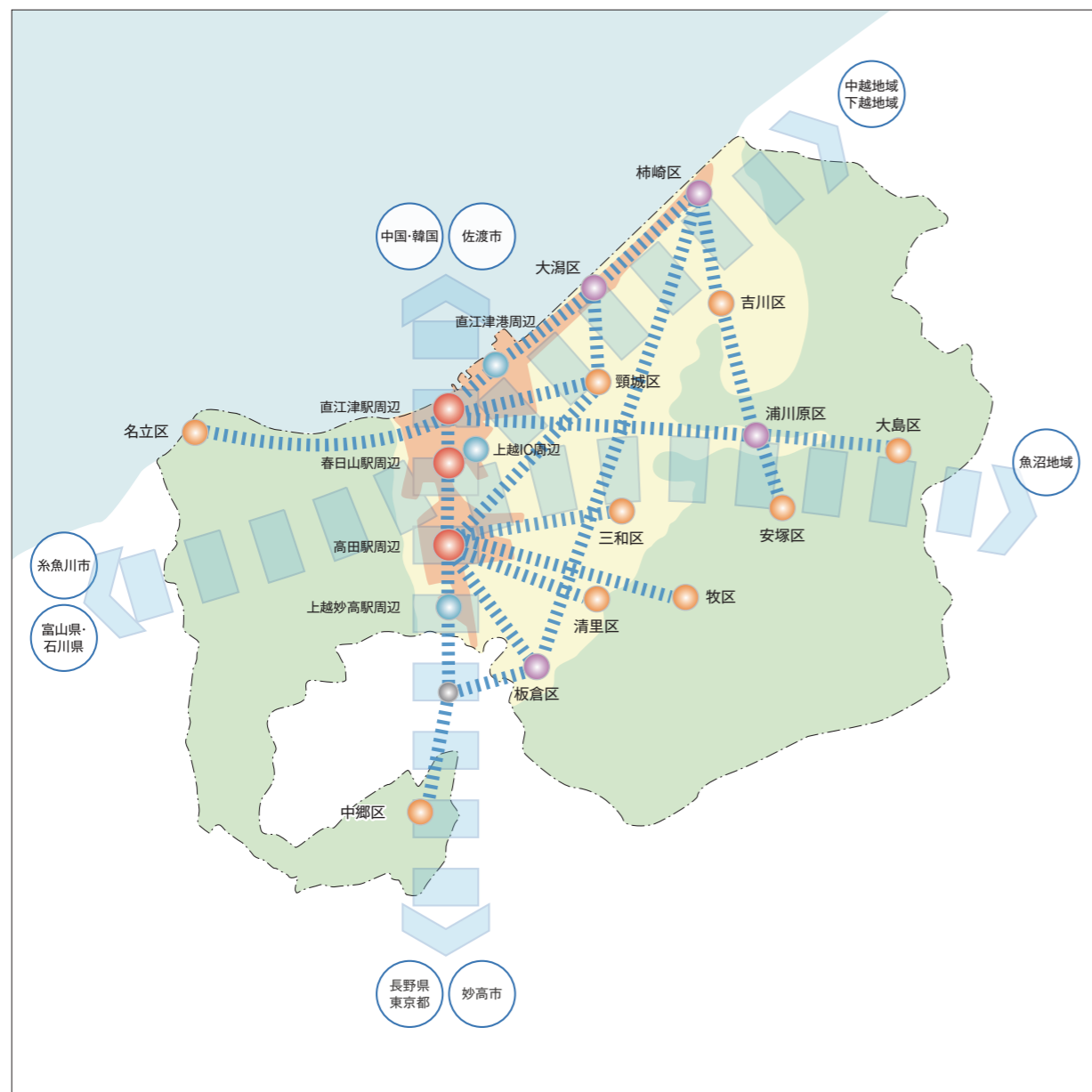
第5章 土地利用構想



○土地利用構想は、今後の人口減少の進行や財源不足が懸念される財政状況下において、市民の皆さんのすこやかな暮らしを守り、次の世代にこのまちを引き継いでいくための土地利用の方向性や、暮らしを支える都市機能と交通ネットワークの整備の考え方について、「面・点・線」の三要素から示したものです。

○「面」とは、市域を地勢的特徴に応じて区分した三つの「エリア」の考え方、「点」とは、施設や店舗などの都市機能が集まる中心市街地や各区総合事務所の周辺などの場所を「拠点」と位置付ける考え方、「線」とは、道路や鉄道、バスなどの「交通ネットワーク」の考え方のことです。

面・点・線によるまちの構造のイメージ



※エリアはおおむねの範囲を、拠点はおおむねの位置を示したものです。
※交通ネットワークは、人や物の移動をイメージで示したものです。生活拠点の間を結ぶ拠点間ネットワークと地区内ネットワークは図示していません。

面 めりはりのある土地利用

多様な都市機能や優良な農地、豊かな自然を有するエリアそれぞれの特性をいかし、育むめりはりのある土地利用を推進します。

エリア	機能	対象地域	土地利用の考え方
市街地	暮らしを支える多様な都市機能を有する地域	既に市街化が進んだ地域または市街化が想定される地域	・将来の人口減少や社会経済情勢の変化などを踏まえ、市街地の適正な規模を維持します。 ・社会経済情勢を踏まえた住宅・商業・工業の土地利用の変化や、住民・事業者のニーズを見極めながら柔軟な土地利用を進めるとともに、市街地内で十分に活用されていない土地の解消に努めます。
田園地域	農業生産機能と生活機能を有する地域	市街地に隣接する平坦で農地と集落が分布する地域	・優良な農地や自然環境、農村部の景観を保全します。 ・集落地は、農村らしいゆとりある住環境を形成します。 ・優良な農地は、地域の実情に応じて大規模ほ場などの生産基盤の整備を進めるとともに、農地の集積を進め、農業の生産性を高める土地利用を推進します。
中山間地域	水源かん養や保水・浄水、生態系保全などの様々な公益的機能と生活機能を有する地域	平地の外縁部から山間地に至るまとまった平坦な耕地の少ない地域など	・自然環境や景観を保全するとともに、水源かん養などの公益的機能を維持するため、森林の適切な管理と農地の保全を推進するとともに、人や地域の支え合いなどにより中山間地域の暮らしを支援します。 ・集落地は、自然環境と調和した里山らしい住環境を形成します。

点 暮らしを支える拠点の構築

各地区の拠点の機能に応じ、暮らしを支える機能を維持・集積します。

拠点	機能	対象場所	拠点の機能整備の考え方
都市拠点	市の中心地として多様な都市機能が集積し、市内外からの交通アクセスを有する。	高田駅周辺、直江津駅周辺、春日山駅周辺	・都市的ライフスタイルを可能とする居住環境と当市の経済発展の原動力となる都市機能の集積を図るとともに、市内外からの交通アクセス性を高め、多様な人々や団体が集まり、交流や連携が生まれるにぎわいのある拠点を目指します。
地域拠点	日常生活に必要な機能に加え、周辺の生活拠点を支える機能が集積し、地区内外からの交通アクセスを有する。	浦川原区、柿崎区、大湊区、板倉区の各中心的エリア（総合事務所周辺）	・日常生活に必要な機能に加え、周辺の生活拠点を支える機能の維持・集積を図るとともに、地区内の集落や地区外からの交通アクセスを確保し、人々や団体が集まり、交流や連携が生まれる拠点を目指します。
生活拠点	日常生活に必要な機能が集積し、地区内外からの交通アクセスを有する。	安塚区、大島区、牧区、頸城区、吉川区、中郷区、清里区、三和区、名立区の各中心的エリア（総合事務所周辺）	・日常生活に必要な機能の維持・集積を図るとともに、地区内の集落や地区外からの交通アクセスを確保し、人々や団体が集まり、交流や連携が生まれる拠点を目指します。
ゲートウェイ	広域交通が結節し、広域的な人や物の移動の玄関口としての特性をいかした機能を有する。	上越妙高駅周辺、直江津港周辺、上越インターチェンジ周辺	・広域交通が結節し、市内から市外へ、市外から市内への広域的な人や物の移動の玄関口としての特性をいかした機能の集積を促進します。

線 人や物の移動を支える交通ネットワークの構築

拠点と市外、拠点と拠点、拠点と地区内の集落のそれぞれの間の移動が便利で安全な交通ネットワークを構築します。

交通ネットワーク	機能	対象	整備の考え方
広域ネットワーク	広域的な移動と交流・連携を支える交通ネットワーク	・広域的な移動を支える主要国道、高速道路など ・国内外の広域的な移動を支える鉄道、航路など	・高速道路、地域高規格道路、国道などの整備促進と、鉄道、航路などの公共交通の安定的な運行の確保と利便性の向上を図ります。
拠点間ネットワーク	各拠点間の移動と交流・連携を支える交通ネットワーク	・拠点間を結ぶ幹線道路 ・拠点間を結ぶ鉄道、バスなど	・拠点間を円滑に移動できる国道、県道などを確保します。 ・拠点間を移動する鉄道、バスなどの公共交通の安定的な運行の確保と利便性の向上を図ります。
地区内ネットワーク	拠点と地区内の集落の間の移動と交流・連携を支える交通ネットワーク	・日常生活を支える生活道路 ・拠点と地区内の集落を結ぶバスなど	・身近な生活道路とバスなどの公共交通の確保を図ります。

序論

基本構想

基本計画

資料編

序論

基本構想

基本計画

資料編